

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

し て い ぶ ん か ざ い し せ き

指定文化財(史跡)

しもついきょうどういどぐん

下津井共同井戸群

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



場所

くらしきしこしましもついで
・倉敷市児島下津井1丁目



時代

えどじだいいこう
・江戸時代以降



指定年月日

しょうわ
・昭和45(1970)年
3月20日



所有

くらしきし
・倉敷市



この史跡について

しもついでこしまはんとうなんたんみなとまちえどじだいしょうこうぎょうこうこんびらおうらい
下津井は児島半島南端の古い港町です。江戸時代の間、商港・漁港として、また金毘羅往来の
はつちやくこうさかまちないどてんざい
発着港として栄えました。その町並みにはいくつもの井戸が点在し、なかには複数の家で使用
きょうどういどしゃくいどてらいどつるいどかめいど
する共同井戸も見られます。杓井戸・寺井戸・鶴井戸・亀井戸がそれです。

これらの共同井戸では井戸ごとに使う家がきまっており、使用する家が井戸を厳しく管理し
ていました。えどじだいいこうしもついくいどのみず
ていまして。江戸時代以降、下津井に暮らす人々は、これらの井戸から飲み水をくんでいまし
た。また、井戸の水を港へ立ち寄る船にあげたり、酒造りに使用したりしました。

人々の生活を長い間にわたって支えてきたこの共同井戸群は、かつての下津井の繁栄を今に
きねんひ
伝える記念碑といえることができるでしょう。